地域とともにある学校

いきいき芳井

芳井地区
学校運営協議会だより

No11
令和７年３月

第5回 芳井地区学校運営協議会　開催

今年度最後　成果や課題・来年度の計画等について協議



幼稚園では、保育園・小学校・中学校との交流に力を入れた。たくさんの人と関わることで、プラスになることが多かった。来年度も継続したい。課題としては、ユーチューブの長時間の視聴やゲームについてである。さらなる対応策を考えていきたい。

小学校では、5年間継続して自己肯定感・自己有用感のもてる児童の育成を図った。アンケートでは、約90%の児童が肯定的な回答をしている。
今後も、結果より過程を大切にし、認める場を設けたい。

小学校では、授業中の話し合い活動に力を入れて指導を行った。子どもたちは、「話し合おう！」という意識をもって、主体的に授業に取り組めるようになった。学校だけでなく、家庭でも話し合う場面（例：スマホの使い方等）がもてるよい。



小学校では、「芳井町が好き」と回答した児童が93%であった。地域学習やそれらの活動に協力いただいた地域の皆様のおかげだと感謝している。

中学校では、芳井クラブの活動が始まった。地域の方々等の協力もあり、「宵まつり」「ふるさと祭り」で、発表の場を設けることができた。生徒の学習活動の深まりと広がりがみられた。



中学校では、アンケートの結果を見ると、家庭学習について60%の生徒が肯定的な回答をしている。しかし、これは他の項目と比較すると低い割合になっている。家庭との連携も取りながら改善を図りたい。



アンケート結果によると、学校運営協議会の設置や、幼稚園や小中学校が、地域と連携して取り組んでいる内容の認知の割合が増えてきている。学校からの説明や学校だより等の配布物の効果が大きい。目的や取組内容を知っていただくことができている。これが、より多くの方々の意識向上につながり、ふるさと芳井を愛し、芳井の未来を創るこどもを育てる地域になっていけばよい。

学校運営協議会の委員で、保護者は小中学校の PTA 会長のみである。保護者の意見や思いを反映させるためにも、他の保護者の方に参加していただくことも大切なのではないだろうか。
委員が難しい場合は、オブザーバー的な立場としての参加もいいのではないだろうか。

来年度は、学校運営協議会の取組として、夏休み期間中に、「夏休み学習会」(仮称)を実施したい。小中学生だけでなく、高校生も含めて実施できるとよい。

今年度もたくさんの地域の皆様にお世話になりました。ご理解・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。この「芳井地区学校運営協議会」は、以下の「めざす子ども像・地域像」を達成するために、地域の皆様と協力・連携しながら、芳井地区総掛かりで取り組んでいくための仕組みです。子どもたちの健やかな成長・私たちのふるさと「芳井」をより「いきいき」とするために、芳井地区の皆さんでがんばっていきましょう。

来年度も、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【めざす子ども像】
・ふるさと芳井を愛し、目標をもって自ら考え、たくましく生き抜く子ども
【めざす地域像】
・学校・園と連携して、ふるさと芳井を愛し、芳井の未来を創るこどもを育てる地域